

文化しま

第43号
[2024年3月]

【発行・編集】
色麻町文化協会
☎0229-65-3110
(色麻町公民館内)
会長 小川きょう子



4年振りに活気戻る (豊作祈願の餅撒ぎ) /
令和5年6月25日(日) 第38回さなぶり芸能大会・第35回婦人会福祉チャリティー大会



歴史と伝統が受け継がれる (町指定無形文化財：清水田植踊) /
令和5年6月25日(日) 第38回さなぶり芸能大会・第35回婦人会福祉チャリティー大会

世代間でつなぐ歴史と文化

会長挨拶

色麻町文化協会 会長 小川 きょう子

先ず初めに、一月一日に発生しました能登半島地震により犠牲となられた方々に心よりお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。被災地域の皆様の安全確保、そして一日も早い復旧・復興を衷心よりお祈り申し上げます。

改めまして色麻町の皆様、日頃より町文化協会についてはご理解とお力添えを賜り、ありがとうございます。今年度文化協会会長に就任いたしました小川です。文化協会に加入し二十年以上が経つものの、まだまだ経験不足で、微力非才の身ではございますが、これまでの会長様方、協会会員の皆様方が築き上げてきた文化の層を、さらに厚みのある豊かなものとしていくよう全力を尽くしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度は新型コロナウイルス感染症が五類に移行されたこともあり、四年振りに「さなぶり芸能大会」「町民文化祭」が開催されました。これまで滞っていた各種文化活動、各団体活動でしたが、ステージでの発表や展示に触れ、会員団体の創作意欲はなかなか強く、町文化協会の活力を感じられたと思っております。

昨今、暗い事件や新型コロナウイルス対応、自然災害など、不安や閉塞感を感じられる面もありますが、こうした世の中であるからこそ、芸術文化の果たす役割は益々重要になってきております。

町文化協会では、会員の高齢化は深刻で加入団体数も減少傾向となり、若年層の文化団体の取り込みが早急の課題でもあります。文化を創造する意欲は人として止むことはなく、時の流れに沿った各種活動はさまざまに展開されています。そういった流れの中に私たちはいるのですが、次世代に文化活動の意義を伝えるためにも、副会長をはじめ役員、事務局が一丸となって文化協会の在り方も模索し、芸術文化の力で生きたる喜びや活力、そして「笑顔」をお届けしたいと思っております。

結びに協会会員・関係団体の皆様とともに色麻の文化を育てて参りますので、今後とも町民皆様方のご指導とご支援をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。



せせらぎ

歌壇【特選歌】

三人で二五〇歳の立ち話夕焼け雲も仲間となして

佐藤 宮子

紅の椿はみ出さ絵手紙に近くて逢えぬ友と春待つ

早坂とし子

オリンピックの閉会式の郡上節若き日習えばついで口ずさむ

浅野 はつ

大空を制すと伝わる辰のとし争い無き世を絵馬に託せん

佐藤美智子

退院の會孫に会えば成長をこの目で見たしウォーキング始む

菅原知恵子

軽快なリズムに乗って逝くことが出来たらいいな

小松 きよ

深夜におもう

小松れい子

届きたるイエローカードの検診表返却めげし今朝も五千歩

石川 鋼

ポルタヴァにとぼる蠟燭

石川 鋼

川柳クラブ「田園」

会員作品

考えるロダンの像と考える
青春のコートに恋あり涙あり

畑山 新米

涙腺が弱くなつて老いの坂
ひと先ずはつんどく本の山となる

小松 きよ

止めたいと思う眠剤のお夜半
平凡な日々につづく感謝する

戸叶 松子

読みかけの本が枕になる昼寝
アルバムに思い出貯まる人生譜

佐藤 遊子

子育ては拳骨よりも抱きしめる
断りに使う言葉は忙しい

早坂 実里

ゆつたりと川の流れに添うもみじ
なつかしい落ち葉で焼いた芋の味

伊藤アッコ

県北部管内文化財 巡回パネル展

宮城県北部教育事務所が主管となり、大崎及び栗原圏域の各市町に傳承されている民俗や芸能等の文化的所産の魅力を発信し、先人たちが、暮らしの中から作りあげた文化に触れることで、文化振興と伝承を目的とした巡回パネル展が管内8会場において令和5年10月11日(水)～令和6年3月17日(日)まで公開されています。

色麻町においては、公民館を会場に令和5年11月14日(火)～11月30日(木)まで展示しておりますのでご紹介いたします。



大崎市 「保柳神楽 (ほやなぎかぐら)」

保柳神楽は、古老(ころう)の言い伝えによると約450年前保柳の館主であった保柳内記主計が民衆に舞わせたのが始まりと言われていますが、定(さだ)明治時代の初め、当時の保柳神楽に形成されたのは、主として南部から来た三太藤助という人に師事(しじ)して、南部本流神楽となつてからで、さらに5代目千葉平之丞が師となつて栗原郡下で盛んであつた迫系統の神楽を一部とり入れて保柳神楽にセリフ神楽的な面も加わり、躍動的(やくどく)も伴い、鎮守(ちんじゆ)熊野神社の付属神楽として地域に根差した芸能として守り育てられてきました。昭和49年に旧古川市無形民俗文化財、平成18年に大崎市無形民俗文化財に指定されています。



栗原市 「鶯沢八ツ鹿踊り」

栗原市鶯沢南郷(うぐいすざわなんごう)に伝わる鶯沢八ツ鹿踊り(うぐいすざわやつしかおどり)は、約2000年の歴史を持つ郷土芸能です。藩政時代から持続し、現在は23代目の踊り手によって傳承されています。鹿踊(しかおどり)は東日本地域で行われている独り立ち獅子舞(ひとりだちししまい)の系統で、盆(ぼん)に家々を巡つて祖霊供養(そらたまへ)五穀成就(ごこくじゆ)の祈り(いのり)を祈つて踊られる念仏踊(ねんぶつおどり)の一種と考えられています。現在は地元八幡神社の祭祀に奉納するほか、地域の芸能大会等に参加しています。芸能の由来として、「鹿撃ちの獵師勘太郎が木の根元に寝をべつて鹿を発見し射止めたが、よく見る鹿の皮を被つた鹿好きの息子だった。泣く泣く山を降りた勘太郎は、息子の死骸を囲んだ八頭(はつがしら)の鹿が悲しそうに鳴いているのを目撃する。それ以来獵師をやめ、息子と鹿の霊を弔うために自由に遊ぶ鹿の心と姿を綴つて後世に八ツ鹿踊りを伝えた」という逸話が残されています。



加美町 「大宮寺山門」

加美町小野田地区の薬菜神社(やくらいじんじや)にある「大宮寺山門(だいぐうじざんもん)」は、町指定の有形文化財で、貞享(じやうきやう)年間(1684年～1688年)に、真享(まきやう)年間(1684年～1688年)に、寺に見られたとみられる山門です。もともこの地には大宮大明神があり、のちに薬菜山大宮寺が祀られた。明治時代の神仏分離令により薬菜神社の里宮となつたのですが、山門は残りました。



涌谷町 「砂金採りの道具」

涌谷町は日本で初めて金が採れた地で、それは天平(ていへい)7年(749年)の出来事でした。それから1270年以上過ぎた今でも、篁岳山(のだけやま)の川や沢では砂のように細かい砂金が採れます。なぜ川や沢なのかというと、砂金を含む山の土が雨によって洗い流された結果、比重が重い砂金が川底に溜まるからです。「大きいもので約3ミリ」そのため、町内に残っている金を採る道具には、水はけが良いように透かしがあり、砂利をより分けた「カッチャ」、砂利をふるった「金ザル」、最終的に砂利や砂から砂金をより分けた「ゆり板」などがあります。昭和の初め頃までは、こういう道具を使って、農閑期(のうかんき)などに農家の副業として砂金を採っていたという話も伝わっています。今、これらの道具はほとんど使われなくなりましたが、砂金採りの方法は脈々と受け継がれています。



色麻町 「伊達神社」

伊達(いだて)神社は、平安時代の初頭、延暦年間(西暦800年頃)に坂上田村麻呂が蝦夷を征討するとき勸請(かんじよう)され、数百器の甕(かめ)を積み重ねて創建されたと伝えられています。平安時代にまとめられた「延喜式神名帳(えんぎしきじんみんみょうちよう)」にも、「色麻郡伊達神社」と記されており、由緒正しい「延喜式内社(えんぎしきないしや)」のひとつです。伊達神社は今から1,500年前、袋地区にある県指定史跡「念南寺(ねなんじ)古墳」と同時期に造られた「御山(おやま)古墳」の上に建てられています。当時から神聖な場所、あるいは政治上重要な場所だったのかも。現在でも、1月には1年間の無病息災・家内安全等を祈願するとんと祭裸参り、5月には例大祭が行われており、町民の暮らしと縁の深い神社となっています。



美里町 「小牛田山神社の神統(こたやまのかみしやのおまくら)」

古くから信仰を集める小牛田(こぎうで)の山神社(やまのかみしや)御祭神は木花之佐久夜姫(このはなのさくやひめのみこと)です。山の神、安産の神としての御加護(ごかご)「こた・御利益(ごりやく)が評判になると、次第に広く東北一円に知られるようになり、各地に山神講(やまのかみこ)・代参講(だいさんこう)が作られました。この小牛田(こぎうで)の山神社(やまのかみしや)には、江戸時代から伝わる習わしがあります。子授(こさず)けや安産を祈願して御祈禱(ごきとう)いただく、神社より「子授け神枕(おまくら)」や「安産神枕(おまくら)」を頂戴します。神枕(おまくら)の中の初穀(はつこ)は稲魂(いなだま)の「ご加護」を意味し、外の袋は4色で四神を表しており、御祭神(ごさいじん)の力が宿つています。無事成就した暁(あかつき)には、お返しに自身で神枕(おまくら)を作り、倍にして二つ以上の神枕(おまくら)を奉納します。この習わしは、今では各地の神社でも取り入れられています。ぜひ参拝にお越しいただき、特産の「小牛田(こぎうで)山の神まんじゅう」も楽しんでいただければ幸いです。



日時：令和5年6月25日(日)
場所：町農村環境改善センター

さなぶり芸能大会 婦人会チャリティー大会



ト音きごうの会



フラガールズ



婦人会王城寺支部



清水神楽



レクリエーション協会



やまびこ会



婦人会一の関支部



婦人会北大支部



清水田植踊



婦人会向町支部



藤枝会

さなぶり芸能大会参加者の声

【一の関婦人会】

支部長 保科 良子

三年間も中止となったチャリティー芸能大会が開催されました。三年のブランクは大変な事だなど思いながらも会員の方々に声掛けをしたところ、9名の方が集まってくれました。仕事の合間の準備や練習、ささやかながらも一の関婦人会として「千恵っ子よされ」に合わせて、ビン三味線と踊りという演技内容で発表しました。大変に緊張しながらも楽しい充実した時間を過ごす事が出来ました。

みんなの頑張りに拍手です！
今後も長く続いていきます様願いますと共に開催スタッフ皆様の御尽力に心より感謝申し上げます。

【ト音きごうの会】

色麻学園六年 佐藤 光姫

私は令和五年六月のさなぶり芸能大会に出演しました。さなぶり芸能大会では心に残ったことが二つあります。

一つ目はオープニングのピアノ演奏で「東京ブギウギ」を先生と連弾したことです。私の出番は一番最初だったので、「トップバッターで大丈夫かなあ」と、直前までとてもドキドキしていました。でも、弾いている間に緊張が解けて、演奏が終わった時にはとても楽しく、笑顔になっていました。

二つ目は出演した皆さんの出し物です。私は一番最初で出番が終わったので、急かされることもなく、ゆっくりと皆さんの演技を観ることができました。一番最後には私のおばあちゃんも踊りを披露していました。琴や歌などだけでなく、スコップを楽器にして演奏するなど、今まで目にしたことのない演技があつてとてもおもしろかったです。

演奏者としても観客としてもとても楽しかったです。ぜひ、また次回も参加したいです。

日時：令和5年11月5日(日)
場所：町農村環境改善センター／町民体育館

町民文化祭

ステージ発表



藤枝会



色麻町レクリエーションダンス愛好会



色麻町レクリエーション協会



Viente



やまびこ会



カッパバギ色麻踊り保存会



フラガールズ



太極拳クラブ

展示発表



せせらぎ短歌会



ビオトープ愛好会



しかま千年の森プロジェクト

らくらくパッチワーク



令和六年を迎え、元旦五時過ぎのニュース。能登半島地震で恐怖に驚き、十三年前の東日本大震災が思い出されました。そして、新型コロナウイルス感染により世界中が大騒ぎ。全てが自粛され、私達の活動も止まりました。

私が色麻での生活を始めて、初めて見た文化祭での皆さんの団体の発表。皆さんの生き生きとした姿を覚えています。私も文化協会に入会し、年二回の催しのさなぶり芸能大会と町民文化祭の舞台で毎回ハラハラ、ドキドキの経験が走馬灯のように浮かびます。

昨年はコロナ禍の五類移行の兆しでボランテア活動が再開され、町内のミニデイなどでも活動させて頂いています。

高齢者でも元気で踊れる幸せ。踊り仲間と一緒に活動に精を出し、腰や膝の痛みを忘れてお稽古に夢中になっています。私達が文化協会の会員として活動できることに感謝しています。能登半島地震で被災された皆様方のご健康と一日も早い復興をお祈り致します。

【藤枝会】

代表 島田 美枝

町の一大イベントに今年も参加しました。

平成29年に結成し、第3土曜日定例会開催、文化祭に参加するために会員と話し合った結果、今年は「地域のみなさんに少しでも笑顔と元気を届けたい」と願い、「明日があるさ」を練習しました。会場の皆さんから温かい拍手が送られ、元気を頂きました。

私たちの主な活動として、各地区で生き生き教室の講師として参加したり、障害児・者の皆さんと一緒にレクリエーションの楽しさを共有できる活動をしています。今年度はNHK仙台放送局のキャクター「やっぺえ」と一緒に「やっぺえ体操」を元気に踊り、テレビ初デビューしました。

これからも、レクリエーション活動を通じて、地域のみなさんに「笑顔と元気」を届けられるように、頑張っていきたいと思います。

【色麻町レクリエーション協会】

会長 中島 まさ子

町民文化祭参加者の声

第26回 みやぎ県民文化祭

第26回みやぎ県民文化祭が美里町（舞台会場・美里町文化会館／展示会場・美里町トレーニングセンター）を会場に11月11日（土）～12日（日）の2日間に渡り開催されました。

色麻町文化協会から、舞台部門に4団体（カッパギ色麻踊り保存会・女声合唱団Viente・フラガールズ・大道派色麻教室）が出演し、展示部門に3団体（らくらくパッチワーク・せせらぎ短歌会・川柳クラブ田園）が出演しました。

参加団体は日頃の練習の成果を十分に発揮し、県民文化祭は盛会裏に幕を閉じました。



パッチワーク

カッパギ色麻踊り保存会



川柳・短歌



フラガールズ



Viente



大道派色麻教室

みやぎ県民文化祭参加者の声

「せせらぎ短歌」

小松 れい子

花柄のタオルケットを気に入って施設の母のおしゃべり弾む県の文化祭に一首出して欲しいと話があった時、迷わずこれを選びました。私には大正14年生まれの母がいます。5年前から施設に入りお世話になっています。90歳を過ぎてから胆石が見つかり生まれ初めて入院、手術になりました。退院後から施設に入り、杖をつき乍らも元気でおります。私も74歳になりますが週に2～3回シルバー人材会員として高齢者施設で働いています。リネン交換や食器洗い、居室清掃などに精を出す時、母の顔が浮かんできます。

私が高卒後関東の方に就職し寮に入った時はよく手紙をくれました。最後に「体に気を付けて働いてね」の言葉が必ずありました。

父と一緒に田んぼ仕事や土方に明け暮れ、冬は寒い作業場で俵編みをやっていた姿が脳裏に浮かびます。コロナ前にタオルケットを渡した時の笑顔が浮かび此の短歌（うた）をみやぎ県民文化祭に出品しました。

「フラガールズ」

本田 みき子

「初めてのみやぎ県民文化祭に出演して」

文化協会事務局より県民文化祭の出演依頼があり、その日のうちにLINEで会員に連絡しました。初めての参加なので練習にも熱が入り心待ちにしておりました。

ステージには前列4名、後列4名と並ぶと私達フラガールズの活動内容が紹介され曲目「愛燦燦」が静かに流れました。まばゆいばかりのスポットライトを浴びて、とても気持ち良く発表する事が出来ました。

後日「大崎タイムス」に舞台部門59団体のうち色麻町フラガールズは往年の名曲「愛燦燦」に合わせて優雅に腕や腰を振り、会場から大きな拍手を受けたと掲載されました。

これからのフラガールズの一員として誇りを持って精進していきたいと思えます。

しまか千年の森プロジェクト

代表 高森 すみえ

しまか千年の森プロジェクトは、色麻町とその周辺の豊かな自然を残すため今何ができるのか一緒に考え、実践していく人たちの集まりです。

目標は50年前の豊かな自然環境を再現する事で、メンバーはそれぞれ自分が関心を持つテーマで調査を進めています。

1. 町内を流れる3つの河川（保野川、長谷川、花川）の水質調査。
 2. ホタルの町内分布調査。
 3. 加美郡内で越冬するガン、白鳥類の渡りを含めた生態調査、など。
- この他にも多くの人に色麻の素晴らしき自然を知ってもらえるような事をいろいろ計画中です。



ただ今会員募集中！
美しい色麻の森を千年先の子どもたちへ残していくために、私たちとともに学び、行動しませんか。

和装研究愛好会

代表 今野 俊子

会を指導していらっしゃる落合洋子先生が公民館で着付けの愛好会を立ち上げられたのは二十代と聞いております。

以来、色麻町の沢山の方が着物に親しまれたのだと思うと感慨深いものがあります。

私も京扇流という素敵な帯姿に憧れて入会しました。

最近は何が上がらない、腕を後ろに回せないなど悪戦苦闘しながらも、これも立派なりハビリになっていると頑張っています。

現在、会員7名、公民館二階の広々とした和室で月2回、火曜日に練習しています。



お着物に虫干しも兼ねて風を通してあげませんか。
会員募集中です。

色麻歴史訪ね歩き会

佐藤 忍

町民の皆様、色麻歴史訪ね歩き会の活動を紹介する前に、昨年当会の早坂会長が熊被害に遭い受傷した際には、大変ご心配をお掛けいたしました。改めてお礼申し上げます。

当会の令和五年度活動内容ですが、偶数月の定例会を基本にしており、八月に「どうする伊達神社！」（13名参加）と題して、伊達神社の歴史と役わりなどを宮司の高崎さんに講話していただきました。また同じ八月に、かねてから熱望しておりました「欠入視察調査」（4名同行）が会員鈴木 勇さんの御尽力により実現いたしました。十月には清水寺く念南寺古墳、日の出山瓦窯跡群の現地調査（11名参加）を行いました。十二月に欠入視



察報告と忘年会を予定しておりますが、諸般の事情で延期しております。このように当会は、町内外の文化財を訪ね歩きながら、会員相互の親睦と知識を深めることを目的に活動しております。



カップパブギ色麻踊り保存会

代表 小山 牧子

河童の取り持つ縁で昭和63年に茨城県牛久市と親善友好都市を締結、町がビクターに依頼し作った「カップパブギ色麻」振り付けは牛久市在住の西川先生のご指導の下、カップ踊り普及会が結成、平成3年「カップパブギ色麻踊り保存会」と名称を変更。

町の支援で着物も揃え、町内外で開催される各行事に出演。NHK始め各テレビ、国際ゆめ交流博覧会、仙台駅ステンドグラス前、仙台空港等々。昨年は第26回みやぎ県民文化祭参加、色麻町の町おこし、後継者育成にも努めています。

現会員は23名、行事前に定例会と練習を行い軽快なリズムで踊る「カップパブギ色麻」、また地元出身の歌手、清正人さん

が故郷を想い作詞作曲した「色麻音頭」、当時婦人会役員の遠藤けい子先生が振り付けしました。

先輩方々が育んできた郷土芸能の一つとして受け継がれる事を念願し日々努力しています。



令和5年度 色麻町文化協会加入団体一覧

No.	部門	団体名	代表者名	地区名	活動・練習日等
1	郷土芸能	カップパブギ色麻踊り保存会	小山 牧子	上高城	イベント参加時に練習日設定
2		仙北麦つき踊り保存会	要害 良子	下黒沢	不定期、年10回程度
3	短歌	せせらぎ短歌	石川 鋼	志津	毎月第1土曜日
4	歴史研究	色麻歴史訪ね歩き会	早坂 一郎	小栗山	定例会(偶数月)、現地調査等
5	茶道	和あそびくらぶ	小野寺 透江	二反田	毎月第2・3土曜日
6	手工芸	らくらくパッチワーク	安藤 きくみ	上郷	毎月第1・3月曜日
7	ダンス	色麻町レクダンス愛好会	鈴木 幸子	向町	毎月第2・4土曜日
8		フラガールズ	本田 みき子	下高城	毎月第2・4土曜日
9	体操	太極拳クラブ	早坂 順子	南大	毎週金曜日
10		エアロビクス	鈴木 幸子	宿	2月～3月毎週火曜日
11	舞踊	新舞踊 藤枝会	島田 美枝	道命	自宅教室
12		宮城華僑華人同舟会「色麻組」	角屋 雪	花川沢口	イベント参加時に練習日設定
13	着付け	和装研究愛好会	今野 俊子	王城寺	毎月第1・3火曜日
14	コーラス	女声合唱団Viente	千葉 元子	一の関	毎週金曜日
15	歌謡曲	カラオケ桃孝会	浅野 はつ	宿	個人練習
16	バレエ	アンジェ・バレエクラス	鈴木 昭子	宿	毎週木曜日
17	音楽教室	ト音きごうの会	小川 きょう子	道命	月～金曜日週1回(個人練習)
18	パソコン	色麻町パソコン愛好会	加藤 頼子	吉田	毎月第2・4金曜日
19	レクリエーション	色麻町レクリエーション協会	中島 まさよ	吉田	毎月第3土曜日
20	川柳	川柳クラブ「田園」	畑山 護	大原	毎月第3火曜日
21	自然アート	ビオトープ愛好会	加藤 祥文	宿	時期に合わせて活動
22	箏曲	大道派色麻教室	早坂 しづ子	道命	月2回(曜日不定)
23	フラワーアレンジ	フラワーアレンジ 四季穂会	佐々木 徳子	宿	隔月第3土曜日
24	自然研究	しかま千年の森プロジェクト	高森 すみえ	小栗山	不定期

※入会を希望する方は事務局までお問合せください。 事務局：色麻町公民館 ☎ 65-3110

色麻町文化協会役員(編集委員)



- 〔会長〕小川 きょう子(下段左から二番目)
 - 〔副会長〕相澤 玲子(下段左から一番目)
 - 〔副会長〕小川 ひとみ(下段左から三番目)
 - 〔理事〕今野 俊子(上段左から一番目)
 - 〔理事〕鈴木 幸子(上段左から四番目)
 - 〔理事〕佐藤 邦雄(下段左から四番目)
 - 〔監事〕中島 まさよ(上段左から一番目)
 - 〔監事〕早坂 順子(上段左から三番目)
- 色麻町レクリエーション協会
太極拳クラブ
色麻歴史訪ね歩き会
エアロビクス
女声合唱団Viente
和装研究愛好会
ト音きごうの会
カップパブギ色麻踊り保存会